



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 五洋インテックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7519 URL <http://www.goyointex.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮原 雄一
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)梅野 拓実 (TEL) (0568)76-1050
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	618	△9.9	△135	—	△136	—	△82	—
2019年3月期第2四半期	686	△23.8	△105	—	△105	—	△148	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △81百万円 (-%) 2019年3月期第2四半期 △147百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△8.12	—
2019年3月期第2四半期	△14.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	877	606	69.1
2019年3月期	1,310	688	52.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 606百万円 2019年3月期 688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	11.0	10	—	10	—	3	—	0.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) MNC株式会社、除外 1社(社名) 株式会社キュアリサーチ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	10,101,585株	2019年3月期	10,101,585株
2020年3月期2Q	3,595株	2019年3月期	3,410株
2020年3月期2Q	10,098,034株	2019年3月期2Q	10,099,053株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2019年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調が見られましたが、依然として、米国を中心とした貿易摩擦の強まりや人手不足の深刻化が懸念されております。当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は減少しております。

売上高は、室内装飾品関連では主に建設が減少しているマンションの業者への販売が振るわず減少となりました。メディカル関連は、子会社株式会社キュアリサーチは子会社から除外され、2019年7月12日子会社となったMNC株式会社が8月からメディカルツーリズムサービスを開始いたしました。全体では、前年同四半期の売上高には及ばず、大幅な減少となりました。

利益面におきましては、販売費及び一般管理費は臨時株主総会の費用などがありました。また、特別利益として子会社株式の売却益が発生しました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比9.9%減の618百万円、営業損失は135百万円（前年同四半期は105百万円の営業損失）、経常損失は136百万円（前年同四半期は105百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は82百万円（前年同四半期は148百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

第3四半期以降におきましては、メインブランドであります「サザンクロス」見本帳の大幅改訂による売上高の確保、メディカル関連におきましては、メディカルツーリズムサービスを本格稼働して収益拡大を目指してまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(室内装飾品関連)

売上高は、主に建設が減少しているマンションの業者への販売が振るわず減少いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比3.1%減の614百万円、営業損失は臨時株主総会費用等の増加により134百万円（前年同四半期は82百万円の営業損失）となりました。

(メディカル関連)

売上高は、MNC株式会社が8月から稼働いたしました。株式会社キュアリサーチが連結子会社から除外されたことから減少いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比91.9%減の4百万円、営業損失は1百万円（前年同四半期は23百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少して721百万円となりました。これは、その他流動資産（前払費用等）が67百万円増加、商品が16百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が78百万円減少、仕掛品が7百万円減少したことなどによります。固定資産は、425百万円減少して156百万円となりました。これは、不動産の流動化のための固定資産譲渡により建物及び構築物（純額）が139百万円減少、土地が289百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ432百万円減少し、877百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ244百万円減少して210百万円となりました。これは、短期借入金が72百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が67百万円減少、支払手形及び買掛金が55百万円減少、その他の流動負債が52百万円減少したことなどによります。固定負債は、105百万円減少して60百万円となりました。これは、

長期借入金が90百万円減少、資産除去債務が6百万円減少、役員退職慰労引当金が5百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ350百万円減少し、271百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ81百万円減少して606百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失が82百万円になったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	167,047	169,532
受取手形及び売掛金	281,304	203,003
商品	242,580	258,893
仕掛品	7,452	-
原材料及び貯蔵品	5,241	3,828
1年内回収予定の長期貸付金	378	-
未収消費税等	6,002	-
その他	20,319	87,423
貸倒引当金	△2,153	△1,419
流動資産合計	728,171	721,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	140,631	735
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
土地	289,500	-
リース資産(純額)	9,423	8,475
その他(純額)	8,806	3,135
有形固定資産合計	448,361	12,347
無形固定資産		
商標権	88	73
ソフトウェア	20,085	3,936
のれん	-	1,259
その他	-	760
無形固定資産合計	20,174	6,029
投資その他の資産		
投資有価証券	22,780	22,988
破産更生債権等	120,269	102,496
差入保証金	87,320	115,194
その他	3,209	110
貸倒引当金	△120,269	△102,515
投資その他の資産合計	113,309	138,274
固定資産合計	581,845	156,650
資産合計	1,310,017	877,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,993	90,234
短期借入金	90,000	18,000
1年内返済予定の長期借入金	79,606	12,218
リース債務	2,285	2,242
未払法人税等	14,728	9,504
未払消費税等	5,185	18,889
賞与引当金	13,350	7,710
その他	104,147	51,850
流動負債合計	455,296	210,649
固定負債		
長期借入金	93,867	3,250
リース債務	7,091	5,991
繰延税金負債	2,232	2,183
退職給付に係る負債	45,195	43,752
役員退職慰労引当金	5,324	-
資産除去債務	12,331	5,355
固定負債合計	166,043	60,533
負債合計	621,340	271,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,384,509	1,384,509
資本剰余金	697,805	697,805
利益剰余金	△1,397,465	△1,479,472
自己株式	△1,695	△1,893
株主資本合計	683,154	600,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,522	5,780
その他の包括利益累計額合計	5,522	5,780
純資産合計	688,677	606,729
負債純資産合計	1,310,017	877,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	686,190	618,389
売上原価	328,824	315,246
売上総利益	357,366	303,142
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	160,182	135,453
賞与引当金繰入額	13,447	6,612
賞与	1,587	-
貸倒引当金繰入額	273	△687
退職給付費用	3,986	3,957
業務委託費	21,238	54,219
賃借料	43,891	50,751
減価償却費	12,796	5,377
のれん償却額	-	114
その他	205,602	182,665
販売費及び一般管理費合計	463,006	438,464
営業損失(△)	△105,640	△135,321
営業外収益		
受取配当金	416	441
為替差益	243	1,202
貸倒引当金戻入額	595	1
その他	4,484	3,504
営業外収益合計	5,739	5,149
営業外費用		
支払利息	2,503	2,235
売上割引	408	413
その他	2,735	4,135
営業外費用合計	5,647	6,784
経常損失(△)	△105,547	△136,955
特別利益		
固定資産売却益	-	23,587
子会社株式売却益	-	59,974
特別利益合計	-	83,562
特別損失		
固定資産除却損	774	-
貸倒引当金繰入額	-	23,298
過年度決算訂正関連費用	36,995	-
特別損失合計	37,770	23,298
税金等調整前四半期純損失(△)	△143,318	△76,691
法人税、住民税及び事業税	4,956	5,315
法人税等合計	4,956	5,315
四半期純損失(△)	△148,275	△82,007
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△148,275	△82,007

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△148,275	△82,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	543	257
その他の包括利益合計	543	257
四半期包括利益	△147,731	△81,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△147,731	△81,749

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△143,318	△76,691
減価償却費	12,796	△1,598
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△321	22,609
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,650	△1,040
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,420	△1,442
受取利息及び受取配当金	△1,125	△781
支払利息及び社債利息	2,503	2,235
過年度決算訂正関連費用	36,995	-
のれん償却額	-	114
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△23,587
有形固定資産除却損	774	-
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△59,974
売上債権の増減額(△は増加)	92,254	72,792
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,592	△14,900
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,345	△42,396
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,774	21,982
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,760	△53,482
その他の負債の増減額(△は減少)	△18,235	△9,483
小計	△60,530	△165,644
利息及び配当金の受取額	1,123	780
利息の支払額	△2,492	△2,232
法人税等の支払額	△15,607	△15,379
過年度決算訂正関連費用の支払額	△36,995	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114,502	△182,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	11,089	-
有形固定資産の売却による収入	-	425,000
有形固定資産の取得による支出	△51,111	△367
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2,698
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△20,983
貸付金の回収による収入	11,536	-
その他の収入	12,799	955
その他の支出	△8,685	△56,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,371	345,052

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	18,000
短期借入金の返済による支出	△56,000	-
長期借入れによる収入	30,000	-
長期借入金の返済による支出	△44,310	△176,755
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,108	△1,142
自己株式の取得による支出	△273	△197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,692	△160,095
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△210,566	2,483
現金及び現金同等物の期首残高	422,600	154,935
現金及び現金同等物の四半期末残高	212,034	157,419

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度までの5連結会計年度に引き続き、当第2四半期連結累計期間においても継続的に営業損失を計上するとともに重要な営業損失を計上しました。また、金融機関からの新たな資金調達が困難な状況にあります。

これらにより当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在していません。

当該状況を解消又は改善するための対応策について、室内装飾品関連は、①経営陣の刷新に伴うトップセールスによる新規顧客の開拓、②積極的なマーケティング及びデジタルマーケティングによる既存顧客の取引額のアップ、③パートナー（代理店）戦略の強化、④営業手法において顧客関係性マネジメント（CRM）の徹底及び営業支援システム（SFA）の導入により業務効率化、⑤メインブランド「サザンクロス」見本帳の大幅改訂による販売強化を実施して売上高の増加を図ります。さらに、メディカル関連におきましては2019年7月に完全子会社化したMNC株式会社にてメディカルツーリズムサービス等を実施し、かつ、グループ全体の構造改革及び業務改革を行うことでコスト削減を図り、収益拡大を目指してまいります。

また、資金面におきましては様々な方策での資金調達を検討し、安定的な財務基盤の確立を図ってまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上にあることから、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映していません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	634,300	51,889	686,190	—	686,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	634,300	51,889	686,190	—	686,190
セグメント損失(△)	△82,139	△23,501	△105,640	—	△105,640

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	614,193	4,195	618,389	—	618,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	614,193	4,195	618,389	—	618,389
セグメント損失(△)	△134,286	△1,035	△135,321	—	△135,321

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度までの5連結会計年度に引き続き、当第2四半期連結累計期間においても継続的に営業損失を計上するとともに重要な営業損失を計上しました。また、金融機関からの新たな資金調達が困難な状況にあります。

これらにより当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在していません。

当該状況を解消又は改善するための対応策については、「注記事項 継続企業の前提に関する注記」に記載しておりますが、これらの対応策は実施途上にあることから、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。